



QUALITY OF TIME AND SPACE

すべてのステークホルダーから信頼され、
ともに成長する企業づくりにまい進する



取締役会長 豊田周平



取締役社長 沼毅

トヨタ紡織グループは、世界中のお客さまに最高のモビリティライフを提案し続ける会社を目指し、内装システムサプライヤー、フィルターの専門メーカーとして、世界各地に100社以上で事業展開をしています。

世界中でお客さまに喜んでいただけるモノづくりを通じて、社会に貢献したいという、私たちの強い思いは、創業以来、変わっていません。そのためにも、常にお客さまの目線に立ち、真にお客さまが求めているものを徹底的に追求しています。「お客さまの役に立つ」「魅力的である」「環境にやさしい」、そして「時流の一步先を行く先進性」。私たちの使命は、こうした

お客さまの期待を超える製品を生み出し、多くの感動をお届けすることです。

これからも世界中のお客さまに魅力ある製品をタイムリーに提案するとともに、10年、20年先の未来を見据え、これまで培ってきたモノづくり力をさらに進化させ、世の中をリードするモビリティ空間のシステムサプライヤーを目指していきます。

そして、よき企業市民として社会との調和ある成長を目指すという基本理念のもと、すべてのステークホルダーから信頼され、ともに成長する企業づくりにまい進し、トヨタ紡織の未来を築いてまいります。

取締役会長

豊田周平

取締役社長

沼毅

QUALITY OF TIME AND SPACE

CORPORATE PHILOSOPHY

未来を見つめ、より豊かで上質な時空間の提供を目指して



QUALITY OF TIME AND SPACE

モビリティの中で、人が過ごす、
より豊かで上質な時間や空間を提供していく

私たちを取り巻く社会やモビリティ環境は、この先も刻々と変化をし、移動のあり方も大きく変わっていくでしょう。
その中で、私たちが大切にしたいこと…、それが、QUALITY OF TIME AND SPACE。
モビリティに乗る時間を、ただ単に移動するためだけのものではなく、もっと意味のある、価値のあるものにしたい。
モビリティに乗ることで、その人の経験や人生をもっと豊かなものにしたい。
私たちは、「世界中のお客さまに最高のモビリティライフを提案し続ける会社」として、
「安全」や「環境」はもちろんのこと、「快適価値」の提案を主導し、
世の中をリードするモビリティ空間のシステムサプライヤーを目指しています。



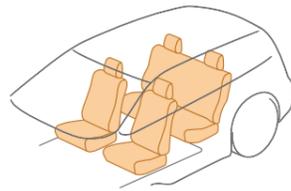
QUALITY OF TIME AND SPACE

世界中のお客さまに、最高のモビリティライフを提供



シート

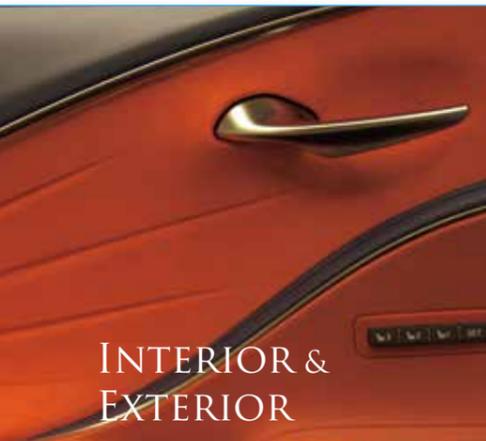
それぞれのクルマが持つポテンシャルを最大限に引き出し、クルマに乗る人が運転しやすい、使いやすい、心地よいと感じるシートを目指して。私たちは、世界中のあらゆるシーンでモビリティに乗るすべての人たちに快適と安全をお届けするシートを追求しています。



■自動車用シート

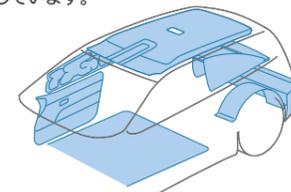


■自動車以外



内外装

世界中のあらゆる国や地域の人々が、クルマの中で家族や友人、大切な人とかけがえない時間を過ごすために。私たちは、時代の一步先を見据え、移動空間をトータルにコーディネートすることで、人々が心から魅力的に感じるインテリアを開発し、快適な移動空間を提供しています。



■内装品



■繊維製品

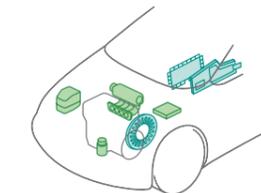


■外装品



ユニット部品

どんな過酷な環境の中でも、スムーズで安定した走りができるクルマのために。私たちは、エンジンの性能をフルに引き出す製品づくりを進めるとともに、次世代パワートレイン部品の開発にも取り組むことで、クリーンで快適な移動空間の実現に貢献しています。



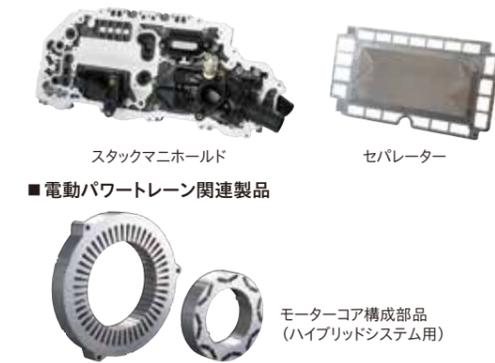
■フィルター製品



■吸気系システム製品



■FC(燃料電池)関連製品



■電動パワートレイン関連製品

どんな人にも、どんな時でも、
「快適」であり続ける。
私たちは、究極の“いいシート”を追求しています。

今、モビリティ環境は大きな変化に直面しています。
私たちは、クルマのシートにとって大切な品質、性能、耐久性はもちろん、
乗り心地、操縦安定性、仕上がりの良さなどで、
実際に乗るお客さまの期待を超える価値の提供を目指しています。
世界トップレベルのシートメーカーとして、
これまでに育んできたコア技術と新たな発想を融合させ、
「安全」と「環境」面での性能向上はもちろん、
クルマに乗るすべての人に「快適」の新たな価値を提供していきたいと考えています。



シート開発では、さまざまな評価・試験を繰り返す



いいシート、理想のシート、究極のシート

あらゆるお客さまに喜んでいただける“いいシート”とはなんだろうと、私たちは常に考え続けています。
ラグジュアリーやスポーティー、コンパクトなど、いろいろなクルマを持つポテンシャルを最大限に引き出すシート。使う人のシーンや好みに応じて、容易に多彩なシートアレンジを実現できる機能性や操作性に富んだシート。体格や姿勢は人それぞれ違っても、誰もが快適と感じるシート。そんな究極の“いいシート”を創ることが、私たちの使命です。



運転する人の身体全体を包み込むように面を支える形状と、高意匠性を実現

見えない部分にもこだわり、乗り心地を追求

“いいシート”を創るために、そのフォルム、デザイン、表皮や質感へのこだわりはもちろんのこと、シート外観からは見えない部分である、フレームやそのシートの持つ機能にも徹底的にこだわり、乗り心地を支えています。これら一つひとつの高い品質を、独自技術によりさらに高いレベルで融合させる。私たちは、フレームや構成部品も含め、シート全体の開発から生産まで一貫して手掛けることで、心身ともに快適さを実感できるシートをお届けしています。



軽量化と高剛性を両立し、乗り心地を高めたシートフレーム

次世代のモビリティ環境を支える 先進のシートを開発

自動運転技術の発展とともに、クルマのあり方が劇的に変化することが予想されています。クルマのあらゆる機能が自動制御化され、例えばシートがセンサーとなって運転者の生体情報をもとに、覚醒させたり、リラックスさせたりするシステムも登場するでしょう。私たちは、健康状態や移動シーンに応じた快適な乗り心地の提供など、すべてのモビリティの移動空間に新たな価値を創造する先進のシート開発を進めています。

移動空間をトータルコーディネート

私たちは時代の一步先を見据え、次世代のクルマに求められる空間について、研究を重ねています。移動空間をトータルにコーディネートし、質感、デザイン、音響、空気、光による空間演出などを多角的にとらえ、世界中のあらゆる国や地域の人々に、かけがえない時間を過ごしていただける移動空間をお届けしていきます。



スタイリッシュなデザインと艶やかな光で彩り、上質なラウンジ感覚を演出するイルミネーション

先進の材料開発で、「安全」「環境」「快適」をさらに

クルマに乗る人のニーズに合わせた多様な移動空間を提供する一方で、省エネルギー化や環境負荷低減などがいっそう求められています。

私たちは、環境に貢献する材料開発の一環として、生育が早く、CO₂の吸収能力が高い一年草「ケナフ」に着目し、いち早く製品化に着手。天然素材を使いながらも品質を高めることで、主力製品であるドアの内装部品やシートのバックボードなど、幅広く採用してきました。

また、クルマのさらなる軽量化や強度の向上に欠かせないのが新たな高機能材料の開発。その一つが高耐衝撃プラスチックです。世界最高水準の耐衝撃性を誇り、幅広い部品への応用が期待されています。



ケナフ基材を採用したドアトリム

未来を見据えた空間づくり

クラウドコンピューティングやIoT技術などの進化によって、クルマが生活に欠かせない情報端末や情報拠点となりつつあります。

私たちは、クルマの内装がヒューマン・マシン・インターフェースの機能を担う未来を見据えています。

私たちは、今までにないコンセプトやアイデアを生み出し、乗る人の人生を高める空間づくりを進めています。

乗る人のニーズ、利用シーンを常に考え、五感に響くインテリアを追求しています。

家族と絆を深める、友人とドライブを楽しむ、大切な人思い出を重ねていく。

クルマは移動するための手段だけではなく、かけがえない時間を過ごす場所にもなります。

私たちトヨタ紡織グループは、クルマに乗る人の好み、ニーズや利用シーンを常に考え、人間の五感に響くインテリアを開発し、それぞれのクルマにあった移動空間を提供しています。



モビリティ空間の未来を提案

見えないところでパワーを生み出し、
見えない空気をきれいに、快適に。
クルマに乗るすべての人が笑顔であってほしい。

気持ち良くクルマを走らせたい。クルマの中で快適な時を過ごしたい。

もっと環境にやさしいクルマであってほしい。

そんな願いを叶えるため、私たちはクルマの心臓部、

パワートレーンの性能をフルに引き出す製品や、

ハイブリッド車、燃料電池自動車を支える製品づくりで、

より豊かで上質なモビリティ空間と時間を提供していくことに貢献しています。



エンジン稼働時の音を予測する吸気音解析と、周波数の伝達特性を解析

クルマの快適さは空気からはじまる

クルマが快適にそして力強く走行するために、エンジンに効率良く空気を送り込む吸気システムや、エンジンに取り込む空気や車室内の空気をきれいにするためのフィルトレーションシステム。軽量化・コンパクト化を実現するとともに、フィルターの本材を自ら開発し、製造できる技術や、その他にも次世代の高機能製品の開発を進めています。



エアフィルター

吸気システム



オイルフィルター

キャビンエアフィルター

エコカー時代を支えるパワートレーンへの貢献

環境にやさしいクルマとしてハイブリッド車や燃料電池自動車などへの期待がますます高まっています。私たちは、エコカーの心臓部であるパワートレーンを構成するモーターコアや、電気をつくる燃料電池に欠かせない高性能な部品を開発・生産しています。これらの製品は、ミクロン単位の精度が求められる加工技術がなければ生産することができません。硬く加工が難しい金属を高精度で加工できるプレス技術や大型金属部品と樹脂部品のインサート成形技術。私たちが育んできた独自のコア技術は、先進のモノづくりを支えています。



スタックマニホールド
(燃料電池関連製品)

セパレーター
(燃料電池関連製品)



イオン交換器
(燃料電池関連製品)

モーターコア構成部品
(ハイブリッドシステム用)

「モノづくり」の進化に挑む

「品質に徹底的にこだわり、世界中のお客さまに心から喜んでいただけるよい商品をお届けする。」

これは、トヨタ紡織グループが創業時から受け継いだ精神であり、私たちの普遍的な思いです。

よい商品を生み出すため、決して今に満足せず、

昨日より今日、今日より明日と、絶え間ない改善をし続け、徹底して品質にこだわり、

先進的で高品質なモノづくりにグローバルで取り組んでいます。



徹底した品質管理

製造段階での品質向上を徹底することはもとより、設計段階から品質を織り込んだ図面をつくり込むなど、開発技術、生産技術、製造工程を一体化したモノづくりに取り組んでいます。また、自動車メーカーの要求や各国・地域の法規をクリアするだけでなく、独自の規格・基準による品質へのこだわりをもって、モノづくりを進めています。



各工程で徹底して品質にこだわる

絶え間ない改善

私たちが目指すのは、作業工程・工数の少ないシンプルなライン、必要なモノを必要なときに必要な量だけつくるスリムなライン、ムダがなく生産性の高いコンパクトなラインです。製造現場では、日々改善に取り組むことで、高効率な生産ラインづくりに努めています。最新の生産ラインであっても、決してベストではないという現状否定を繰り返し、改善を加えていき、常に生産性向上に取り組んでいます。



現地現物で改善を繰り返す

他社を凌駕するオンリーワン技術

生産技術において、私たちが誇る独自のコア技術。例えば、精密プレス分野では、FHS (Fine Hold Stamping) 工法を開発。専門メーカーさえも凌駕する、品質精度と生産効率の高さを誇り、燃料電池自動車など次世代自動車部品の生産にも生かされています。また、車室内空気を浄化するキャビンエアフィルターの濾材では、2層の微細繊維を同一のラインで生産するメルトブロー工法を開発し、高付加価値化・高効率化を実現しています。



FHS (Fine Hold Stamping) 工法

モノづくりのさらなる進化

将来、工場は、ただ製品をつくり輸送するだけでなく、お客さまや社会とさまざまな情報を受発信し、市場とより密接につながっていきましょう。私たちは、これまで培った「信頼」と「安心」を基盤としつつ、お客さま個々の多様な要望にも対応でき、お客さまや社会との相互情報発信を通してニーズを把握することで、お客さまに欲しいモノや創る楽しさを提供するという「愛着」を生むモノづくりを追求していきます。



「技」を極める

クルマは移動するための手段だけではなく、運転を楽しみ、かけがえない時間を過ごす場所でもあります。

お客さまがクルマに求める「快適」とはなにか、お客さまにとって価値のある「安全」とはなにか、

クルマが地球と共生するために必要な「環境」とはなにか。

トヨタ紡織グループは、常に人を中心に考え、お客さまが愛着を持てる移動空間を提供することで、

未来のクルマをトータルにマネジメントする技術開発に取り組んでいます。



多治見技術センターのテストコース

人が快適と感じる移動空間の提供

目的地まで家族や友人との会話を楽しむ、クルマを意のままに操ってドライブを楽しむ、大切な人と大事な時間を共有する。そんな世界中のお客さまの多様なニーズに応えるために、それぞれのシーンを思い描きながら、人間工学や最新のテクノロジーを駆使し、すべての人が快適と感じる移動空間を追求し続けています。



座圧分布解析

時代に先んじた安全安心なモビリティ空間の提供

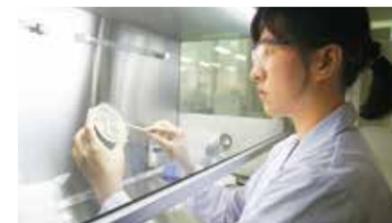
シートに座りドアを閉めた瞬間に感じる、守られているという安心感。万が一の時に乗員への衝撃を緩和する安全性能。これらを徹底的に追求するため、材料から構造の細部まで日々開発を積み重ねています。将来のモビリティにおいて、内装は人とクルマを繋ぐインターフェースとして大切な役割を担うため、安全安心の面でも、内装全体をシステムとして捉え、先進的な研究に力を注いでいます。



シートスレッド試験機

自然環境に配慮したモビリティ空間の提供

クルマにとって環境性能を高めることは永遠のテーマといえます。トヨタ紡織グループは、製品の軽量化などで燃費向上に貢献するとともに、植物由来材料を使うことでCO₂排出削減を図っています。さらに、次世代パワートレイン部品やナノ構造材料・マルチマテリアル構造の開発に取り組むことで、クルマ以外の分野においても環境価値の向上を目指しています。



独創的な要素技術の研究

デザインと機能の融合による五感に訴える室内空間の提供

高度な運転支援システムや自動運転技術の発展にともない、モビリティ空間の自由度はさらに高まっていくと予想されます。トヨタ紡織グループは独自のデザイン力や長年培ったシート・内装開発技術、繊維技術、最新のエレクトロニクス技術を融合することで、音、光、温度、空気質など人の五感に訴える移動空間を開発し、快適をキーワードに移動空間を進化させていきます。



子どもたちが笑顔で暮らせる 「持続可能な地球環境」を目指して

私たちは、次の世代が安心して暮らせるために、事業活動のあらゆる面で環境保全を推進しています。

環境問題に対してより長期的な視野を持ち、より高いレベルでの挑戦が必要と考え、

トヨタ紡織グループは、2050年環境ビジョンを設定し、その達成に向け、グループ一体となってチャレンジし続けていきます。



「2050年環境ビジョン」(6つの環境チャレンジ目標)

すべてのステークホルダーのみならず、みなさまと一致団結して、子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な地球環境を目指します

- | | |
|---|--|
| <p>気候変動</p> <p>1 トヨタ紡織グループ
CO₂排出量ゼロにチャレンジ</p> <p>2 ライフサイクル
CO₂排出量ゼロにチャレンジ</p> | <p>天然資源枯渇</p> <p>4 天然資源
使用量ミニマム化にチャレンジ</p> <p>5 トヨタ紡織グループ
廃棄物ミニマム化にチャレンジ</p> |
| <p>水不足</p> <p>3 トヨタ紡織グループ
生産工程 水リサイクル化による
排出ゼロにチャレンジ</p> | <p>生物多様性危機</p> <p>6 森づくり活動
132万本植樹にチャレンジ</p> |

地球温暖化への取り組み

開発・設計から生産・物流まですべての領域で、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。特に開発・設計においては、製品のライフサイクルにおけるCO₂排出量について把握・低減活動を実施しており、環境に配慮した製品開発を積極的に進めています。クルマが進化し、部品の機能・性能も大きく進化してきた一方で、着実に環境技術も高めてきました。



乗り心地性能を向上しながら、軽量化を実現したシート

循環型社会構築への取り組み

トヨタ紡織では、他社に先駆け、製品にCO₂循環可能な植物由来材料としてケナフの活用を進めるなど、資源循環に貢献できる原料の導入や開発を推進しています。また、生産段階における廃棄物の発生抑制や水使用量の低減をグループ一体となって進めるなど、循環型社会の構築に向けた活動を積極的に進めています。



ケナフ基材を採用したドアトリム

世界に広がる森づくり活動

2006年からインドネシアでスタートした森づくり活動。今では世界各地に広がりを見せ、グローバルな活動へ進展しました。私たちの活動は、地域のみならずとも進め、森林整備や環境保全の活動から、地域交流へと広がりをみせています。



森づくり活動(岐阜県中津川市加子母)

「すべてのステークホルダーから信頼され、
ともに成長する会社」として

私たちは、モノづくりを通じて社会に貢献するとともに、よき企業市民として社会との調和ある成長を目指します。
すべてのステークホルダーの期待と信頼に応えるため、法令・規則・倫理を守るとはもちろんのこと、
企業活動のあらゆる面でCSR(企業の社会的責任)を念頭に活動を推進しています。



社会との調和ある成長

よき企業市民として社会から信頼を得て、それを維持するために、私たちは、「トヨタ紡織グループ行動指針」に基づき、社員一人ひとりの自覚を高め、適切な判断と責任・良識ある行動を指導し、基本理念である「よき企業市民として社会との調和ある成長を目指す」ことを実践しています。



内モンゴルでの砂漠化防止活動に地域、取引先、社員が一体となり参加(中国)

リスクマネジメントの強化を徹底

経営、日常業務、災害や事故などのさまざまなリスクに迅速に対応するために、「リスクの事前予知・予防の徹底」と、「危機発生時の被害を最小限にとどめる活動」を推進しています。さらに、大規模災害対策委員会、危機管理センターを設置し、グローバル本社機能と、各統括会社、生産事業体の連携をいっそう深めることで、グループ全体の危機管理体制を強化しています。



危機管理センター

すべてのステークホルダーとのいい関係づくり

私たちは、常にお客さまの視点・立場に立って、製品の安全性と品質の向上に取り組んでいます。また、公平・公正な手続きのもと、材料や部品、設備などを調達し、サプライチェーンにおける社会的責任を果たしていきたいと考えています。さらに、株主・投資家のみならず、適時かつ適切な情報開示とコミュニケーション活動を推進しています。



株主工場見学会(トヨタ紡織 猿投工場)

地域社会への貢献

トヨタ紡織グループでは、事業を展開する世界中で、それぞれの国・地域に根ざし、信頼され、ともに成長する会社でありたいと思っています。次代を担う子どもたちの教育や福祉、地域と一体となった環境保全活動など、常に地域の人の声に耳を傾けるとともに、NPO法人などとも連携し、地域のニーズにあった社会貢献活動に取り組んでいます。



子どもたちの工作教室

「世界中で活躍できる人」を育てる

社員一人ひとりが誇りと夢を持っていきいきと働くことは、個人の成長、そして会社の成長にもつながります。

トヨタ紡織グループでは、社員が共有すべき価値観・行動原則を「TB Way」に定めるとともに、社員一人ひとりの個性や能力を尊重し、その力を最大限発揮し、明るくいいきいきと働くことができるよう、職場づくりやさまざまな制度、教育、人材育成の場を設けています。



「TB Way」を共通のテーマに

「先進的な技術開発と高品質なモノづくりを通じて社会に貢献する」というTB Wayの根幹を十分理解し、価値観や行動パターンを共有したうえで、世界中で活躍できる人材を育成しています。



グローバルな人材育成

トヨタ紡織グループでは、グローバルに活躍できる人材の育成に積極的に取り組んでいます。国や事業体の垣根を越えて異動し、さまざまな国で仕事の経験を積む制度を採り入れるとともに、将来のグローバル経営人材を育てる研修を実施しています。また、世界各地で「問題解決」「OJT」「方針管理」研修を実施できるよう、各国での講師養成にも力を入れています。



グローバルリーダー研修

モノづくりの技能伝承

安全・品質・納期を高いレベルで達成するモノづくりを世界中で実践するために、モノづくり技能の向上と伝承をグローバルに展開しています。特に、「強い管理監督者の育成」「保全力の強化」「安全行動できる人材育成」など世界共通で取り組んでいるテーマも多く、毎年開催の技能コンクールでは、各国からの参加者も増加しています。「極めたモノづくり技能」では、技能五輪金メダル選手も輩出しました。



世界各地域で技能を伝承

チャレンジ意欲を引き出し いきいきと働ける職場づくり

多様な人材に活躍の場が与えられ、一人ひとりが主体性を持ってチャレンジできるよう努めています。女性活躍施策、障がい者雇用、外国人雇用、定年後の就労支援などを推進するとともに、労使が一致協力して、柔軟で効率的に働くことができ、そして生産性の高い、いきいき職場づくりを促進しています。



目標に向かっていきいきと働く

仕事と育児・介護の両立支援

トヨタ紡織では、育児・介護を必要とする社員の所定外労働の免除、介護休暇制度を導入するとともに、これらを利用しやすい職場環境づくりを進めています。フレックスタイム制度の適用を短時間勤務者へ拡大するなど、より多様な働き方を可能とする一方、企業内託児所も完備し、仕事と育児・介護の両立を支援しています。



トヨタ紡織 猿投工場敷地内に設けられた託児所「TBこハウス」

「真のグローバルカンパニー」を目指して

トヨタ紡織グループは、世界各地に拠点を展開しています。

世界を「米州」「アジア・オセアニア」「中国」「欧州・アフリカ」「日本」の5極に分け、各地域の統括会社を中核に、域内の生産事業体が一体となった事業運営を進めています。

■ 米州
トヨタ紡織アメリカ



■ 中国
豊田紡織(中国)



■ 日本
トヨタ紡織



■ 欧州・アフリカ
トヨタ紡織ヨーロッパ

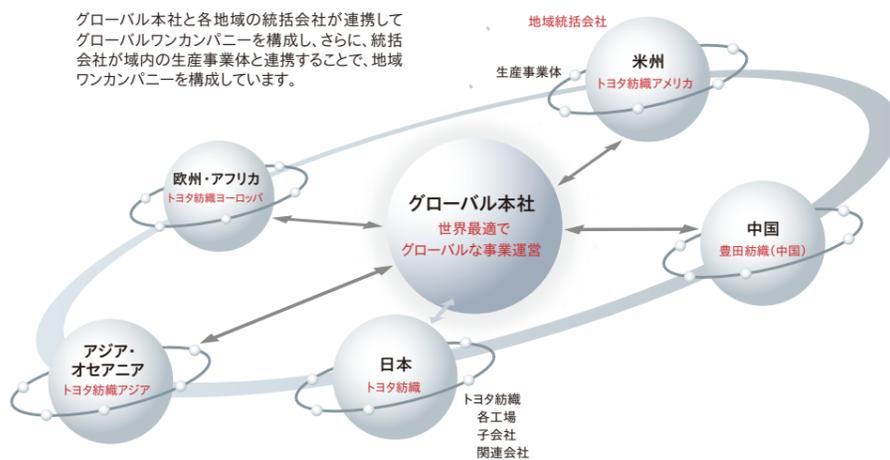


■ アジア・オセアニア
トヨタ紡織アジア



グローバルワンカンパニー

グローバル本社と各地域の統括会社が連携してグローバルワンカンパニーを構成し、さらに、統括会社が域内の生産事業体と連携することで、地域ワンカンパニーを構成しています。



会社概要

社名

トヨタ紡織株式会社

事業内容

1. 内装システムサプライヤー事業と内装製品の製造および販売
2. 自動車用フィルターおよびパワートレーン機器部品の製造および販売
3. その他自動車関連部品の製造および販売
4. 繊維関連製品の製造および販売

取締役会長 豊田 周平

取締役社長 沼 毅

資本金 84億円

創業 1918年(大正7年)

設立 1950年(昭和25年)

所在地

〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

沿革

1918年(大正7年)

豊田紡織株式会社創業

1943年(昭和18年)

トヨタ自動車工業株式会社(現 トヨタ自動車株式会社)に合併

1950年(昭和25年)

トヨタ自動車工業株式会社(現 トヨタ自動車株式会社)から
分離独立し、民成紡績株式会社設立

1967年(昭和42年)

豊田紡織株式会社に社名変更

2000年(平成12年)

豊田化工株式会社と合併

2004年(平成16年)

アラコ株式会社(内装事業)、タカニチ株式会社と合併
トヨタ紡織株式会社に社名変更

最新の会社概要・拠点情報は弊社ホームページからご覧いただけます。
<https://www.toyota-boshoku.com>





〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地
<https://www.toyota-boshoku.com>